

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 6

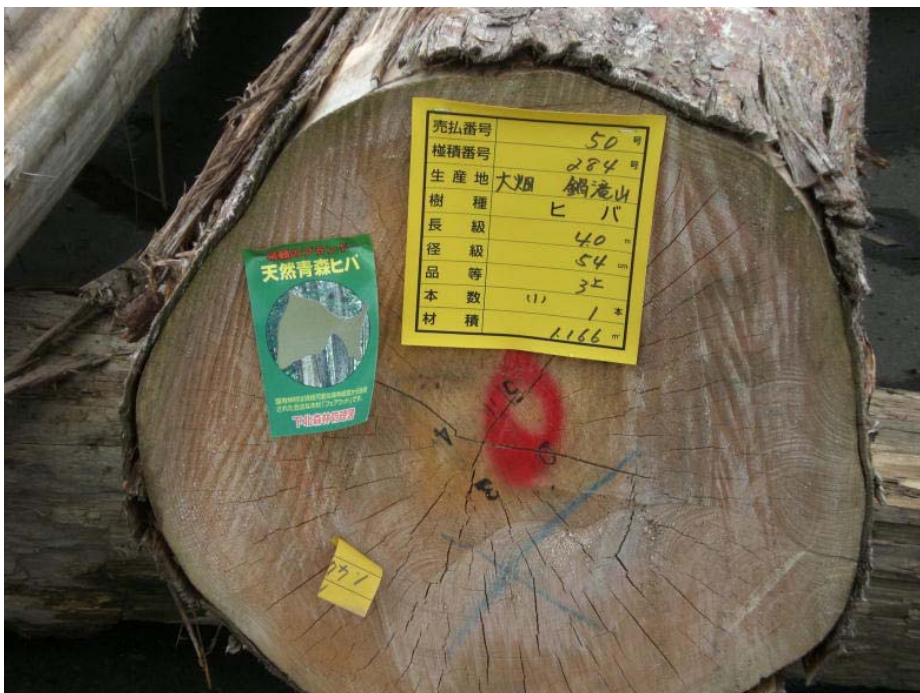
東北森林管理局

取組名	下北地域産材のブランド化を図るためのラベリング表示(継続)
流域名	下北流域
森林管理署名	下北森林管理署
実施箇所及び実施日	木材市場 販売委託の都度実施
取組の背景及び必要性	下北地域国有林内の特産樹種である天然青森ヒバの需要拡大のため、全国市場におけるブランド化を図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 素材生産請負業者や販売委託先等の各機関に協力を依頼し、ヒバ委託販売材に「下北地域産天然青森ヒバ」のラベルを貼付し出荷している。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 関係各機関の協力により、これまでと同様に、出材したヒバ委託販売材にラベルを貼付した。</p>
	<p>国有林担当 部局・役割</p> <p>下北森林管理署 企画（ラベル作成等）</p>
	<p>連携協働相 手先・役割</p> <p>青森県木材協同組合、青森県森林整備事業協同組合 協力（ラベル貼付）</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	ブランドを確立させるためには、息の長い取り組みが必要であり、今後もラベリングを継続していくと共に、あらゆる方法で下北産ヒバをPRし、知名度向上を図っていく。
PRの実施状況及びその期待する効果	全国の市場に出荷されることにより知名度が向上し、全国的な需要拡大が期待される。

【参考資料】

取 組 名 下北地域産材のブランド化を図るためのラベリング表示

○ ラベルを貼付したヒバ材



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 7

東北森林管理局

取組名	漁民の森づくり活動推進事業植樹祭（継続）
流域名	下北流域
森林管理署名	下北森林管理署
実施箇所及び実施日	青森県下北郡佐井村長後字喜平治山国有林2291ぬ林小班 降雨のため中止（平成23年6月30日）
取組の背景及び必要性	漁業環境保全の一環として、佐井村内の漁業関係者が中心となり、分収造林制度による植樹と保育作業を平成15年度以降継続して行っている。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 漁業環境保全のため、青森県・佐井村・佐井村漁業協同組合の連携の下、漁業関係者等が参加し、上流域の分収造林地にブナ等の植樹を行っている。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 6月30日に育樹祭（下刈作業）を実施予定だったが、当日降雨のため中止となり、後日関係者のみで作業を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 （フィールド提供、協力）
連携協働相手先・役割	佐井村 （企画、実行）
取組の結果、反響、今後の課題等	今年度は雨天中止となったものの、例年多くの漁業関係者が参加しており、森林整備に対する関心の高さが伺える。
PRの実施状況及びその期待する効果	植樹や保育作業等を継続して実施することにより、漁業環境保全のために森林が果たす役割や重要性についてのPR効果が期待される。

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 8

東北森林管理局

取組名	下北地域森林・林業関係打合会（継続）
流域名	下北流域
森林管理署名	下北森林管理署
実施箇所及び実施日	青森県むつ市内 平成23年6月2日
取組の背景及び必要性	下北地域の関係行政機関が一堂に会し情報交換や意見交換を行うことにより、各施策をより効率的・効果的に進めることができる。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 下北地域の各市町村長、下北地域県民局地域農林水産部と当署が一堂に会し、当該年度の行政方針や事業計画、懸案事項などについて、情報交換や意見交換を行っている。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 下北地域県民局地域農林水産部が事務局となり、6月2日むつ市内において、下北地域の関係行政機関が一堂に会して、情報交換や意見交換を行った。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 (企画、実行、協力)
連携協働相手先・役割	下北地域県民局地域農林水産部 (企画、実行、協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	地域の行政機関のみが顔を合わせて情報交換を行う機会は大変貴重であり、今後も継続的に開催していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	関係機関との情報の共有化が図れ、各施策をより効果的に進めることが期待される。

【参考資料】

取 組 名 下北地域森林・林業関係打合会

○ 打合会の様子



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 9

東北森林管理局

取組名	ヒバ林の育成活動（継続）
流域名	下北流域
森林管理署名	下北森林管理署
実施箇所及び実施日	青森県むつ市奥内字奥内第一国有林240い4林小班 平成23年6月9日
取組の背景及び必要性	ヒバは全国の約8割が青森県の国有林内に分布しているが、下北地域ではヒバの収穫量及び供給量が減少傾向にあることから、ヒバ林の造成及び周辺地域を含めた森林整備を実施し、ヒバ資源の充実を図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 関係機関・関係団体・一般応募者や地元小学校の生徒などの参加の下、むつ市と共催で育樹祭を開催し、ヒバ造林地の下刈作業を実施している。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 関係機関・関係団体・一般応募者や地元小学校の生徒などの参加の下、むつ市と共催で国際森林年記念育樹祭を開催し、ヒバ造林地に隣接するスギ林の枝打や間伐作業を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	むつ市、下北地域県民局地域農林水産部 (協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	国有林のみならず民有林においてもヒバ林の造成が進むよう、郷土樹種であるヒバの特性や優位性を広く地元にもアピールしていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	地元ローカル誌に掲載されたことにより、参加者以外の一般市民に対しても、緑化意識の高揚と国有林のPRが図られた。

【参考資料】

取組名 ヒバ林の育成活動

○ 枝打作業の様子



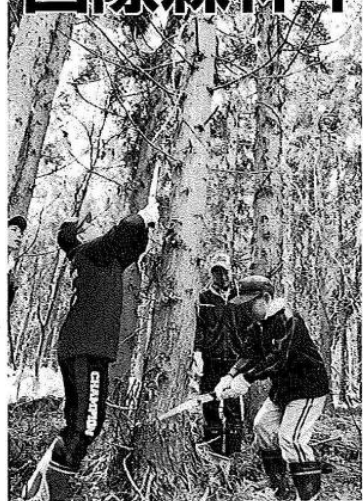
○ 地元小学生の記念撮影



○ H23.6.27 発行「ウィークしもきた」記事より

クしもきた (平成元年5月23日 第3種郵便物認可) 2011年(平成23年)6月27日(月)

# 国際森林年記念育樹祭



六月九日、むつ市と下北森林管理署が主催した「平成二十三年度の育樹祭」は、今年国連が定めた国際森林年記念として催された。

会場となった奥内第一国有林では、市長が「育樹」とは皆さんの心を育てるという意味合いもあると思います。海の三大漁場である三陸が由来したのは森がしっかりと栄養を流しているからです。森は海の恋人という心で育樹をしていただきたい」と挨拶。関係者や奥内小学校5・6年生児童、一般参加者等計三十一人は各自手ノコを持ち、指導者に枝打ちのコツを聞きながら0・1haの範囲での枝打ち作業を行った。佐々木慶乃さん(奥内小六年)は高枝ノコギリにも挑戦し「重くて大変でした」と語り、また佐々木さんは昨年も同育樹祭に参加した際に下草狩りを経験「今年の方が大変だったけどやりがいがあった良かった」と感想を述べた。

その後国際森林年とスギ県産材についての話を聞いたのち、奥内小学校児童代表新堂運くんのみどりの誓いで閉会となった。

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 10

東北森林管理局

取組名	一般市民に対する普及活動（新規）
流域名	下北流域
森林管理署名	下北森林管理署
実施箇所及び実施日	青森県むつ市大畑町字佐藤ヶ平国有林2093林班（黒森山） 平成23年9月29日
取組の背景及び必要性	現在、自然環境に対する国民の意識の高まりと共に、森林への期待は年々増大しているものの、国有林に対する国民の認識は必ずしも高くない状況であることから、一般市民に対し国有林についての理解とイメージアップを図る必要がある。
取組の内容	<p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>9月29日、一般市民28名を対象に国有林見学会を開催し、遊々の森に設定されている黒森山の登山や大畑ヒバ施業実験林の見学を行った。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 （企画、実行）
連携協働相手先・役割	むつ市（下北自然の家） （協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	定員40名に対し28名の参加にとどまったことから、今後は募集期間を長めにとると共に、募集内容が広く市民の目に触れるよう工夫する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	大畑ヒバ施業実験林での説明のほか、昼食会場において「遊々の森」制度や「国際森林年」などについて説明し、国有林に対する理解とイメージアップを図った。



【 参 考 資 料 】

取 組 名 一般市民に対する普及活動

- 黒森山登山の様子



- 大畑ヒバ施業実験林見学の様子



- 昼食会場での説明の様子



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 11

東北森林管理局

取組名	下北森林管理署モニターによる国有林視察（新規）
流域名	下北流域
森林管理署名	下北森林管理署
実施箇所及び実施日	【第1回】むつ市大畑町字二階滝国有林外 H23. 6.29 【第2回】下北郡風間浦村下風呂字佐久間国有林外 H23.11.11
取組の背景及び必要性	近年、国有林と地域住民との結びつきが薄れてきていることから、地域住民に国有林への理解と認識を深めてもらうと共に、地元の意見や要望を把握する機会が必要である。
取組の内容	【平成23年度の取組内容】 国有林の現地視察を年間2回実施し、造林・治山の各現場や保護林などの視察のほか、情報提供や意見交換などを行った。
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 （企画、実行）
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	モニターの任期は3年間であり、現地視察の内容がマンネリ化しないよう工夫していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	地域住民に国有林への理解と認識が深まると共に、地元意見や要望が収集できるものと期待される。

【参考資料】

取組名	下北森林管理署モニターによる国有林視察
-----	---------------------

○ 第1回現地視察の様子 (H23.6.29)



○ 第2回現地視察の様子 (H23.11.11)



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 12

東北森林管理局

取組名	地元自治体等主催イベントへの参画（新規）
流域名	下北流域
森林管理署名	下北森林管理署
実施箇所及び実施日	青森県むつ市脇野沢 地域交流センター 平成23年11月7日
取組の背景及び必要性	国有林野事業の場合、通常業務だけでは一般市民と接する機会がほとんどないことから、地元自治体等主催のイベントへ積極的に参画し、一般市民に対し国有林への理解とイメージアップを図る必要がある。
取組の内容	<p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>10月30日にむつ市主催で開催された「わきのさわ・かさまい」まつりに参画し、「元祖与作選手権大会（ヒバの丸太切り大会）」を主催すると共に、他のイベントにも職員が積極的に参加した。</p> <p>また「木のふれあいコーナー」を設置し、国有林のPRと木材の利用促進を図った。</p>
国有林担当部局・役割	下北森林管理署 （「かさまいまつり」への参加・協力、「与作選手権」の実行）
連携協働相手先・役割	むつ市 （「かさまいまつり」の企画・実行）
取組の結果、反響、今後の課題等	「わきのさわ・かさまい」まつりを含め、今後も地元のイベントに積極的に参画し、国有林のPRと木材利用の推進を図っていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	「木のふれあいコーナー」では、訪れた児童がけん玉やヨーヨー等の木製玩具で遊んだり、板に絵を描いて楽しむ様子が見られ、木製品のPRになったものと期待される。

【参考資料】

取 組 名 地元自治体等主催イベントへの参画

- 「わきのさわ・かさまい」まつりの様子



- 元祖与作選手権大会の様子



- 「木のふれあいコーナー」の様子



